

利用上の注意

平成12年10月1日に実施された第17回国勢調査の第1次基本集計結果の愛知県分が、このたび総務省統計局から公表されました。

この資料は、その概要を本県でとりまとめたものです。

1 第1次基本集計とは

平成12年国勢調査の基本部分の集計は、第1次基本集計、第2次基本集計及び第3次基本集計の3段階に分けて公表が行われることになっています。

このうち第1次基本集計では、人口及び世帯数の確定結果並びに人口、世帯及び住居に関する基本的な事項や高齢世帯、外国人等に関する事項が集計されました。

2 今後の公表予定時期

総務省統計局における平成12年国勢調査の主な集計結果の公表予定は次のとおりです。

(1) 第2次基本集計(平成14年1月)

第2次基本集計は、人口の労働力状態・就業者の産業(大分類)別構成に関する基本的な事項が集計されます。

(2) 第3次基本集計(平成15年3月)

第3次基本集計は、就業者の職業(大分類)別構成に関する基本的な事項並びに母子世帯・父子世帯及び子供のいる世帯等が集計されます。

(3) 抽出詳細集計(平成16年6月)

抽出詳細集計は、市町村の人口に応じ市区町村別に2分の1から10分の1の世帯の調査票を抽出し、これを用いて産業・職業の詳細な分類(小分類)に基づく就業者の経済的構成などに関する事項が集計されます。

(4) 従業地・通学地集計

従業地・通学地集計は、従業地・通学地による人口の構成や常住地の市区町村と従業地・通学地の市区町村との関係などの基本的な事項に関して第1次・第2次基本集計、第3次基本集計及び抽出詳細集計に対応させ、3段階に分けて集計されます。

① 従業地・通学地による人口の基本的構成及び就業者の産業(大分類)別構成に関する事項が集計されます。

(平成14年3月)

② 従業地による就業者の職業(大分類)別構成に関する事項が集計されます。

(平成15年5月)

③ 抽出詳細集計に用いた調査票により、従業地による就業者の産業・職業(中分類)別構成に関する事項を人口10万人以上の市の段階まで集計されます。

(平成16年7月)

なお、本県においては第2次基本集計及び従業地・通学地集計①について、総務省統計局から結果が公表され次第、その概要をとりまとめ公表する予定です。

3 表中の用法は次のとおりです。

「0.0」…… 計数が単位未満の場合

「ポイント」… 増減率の%差

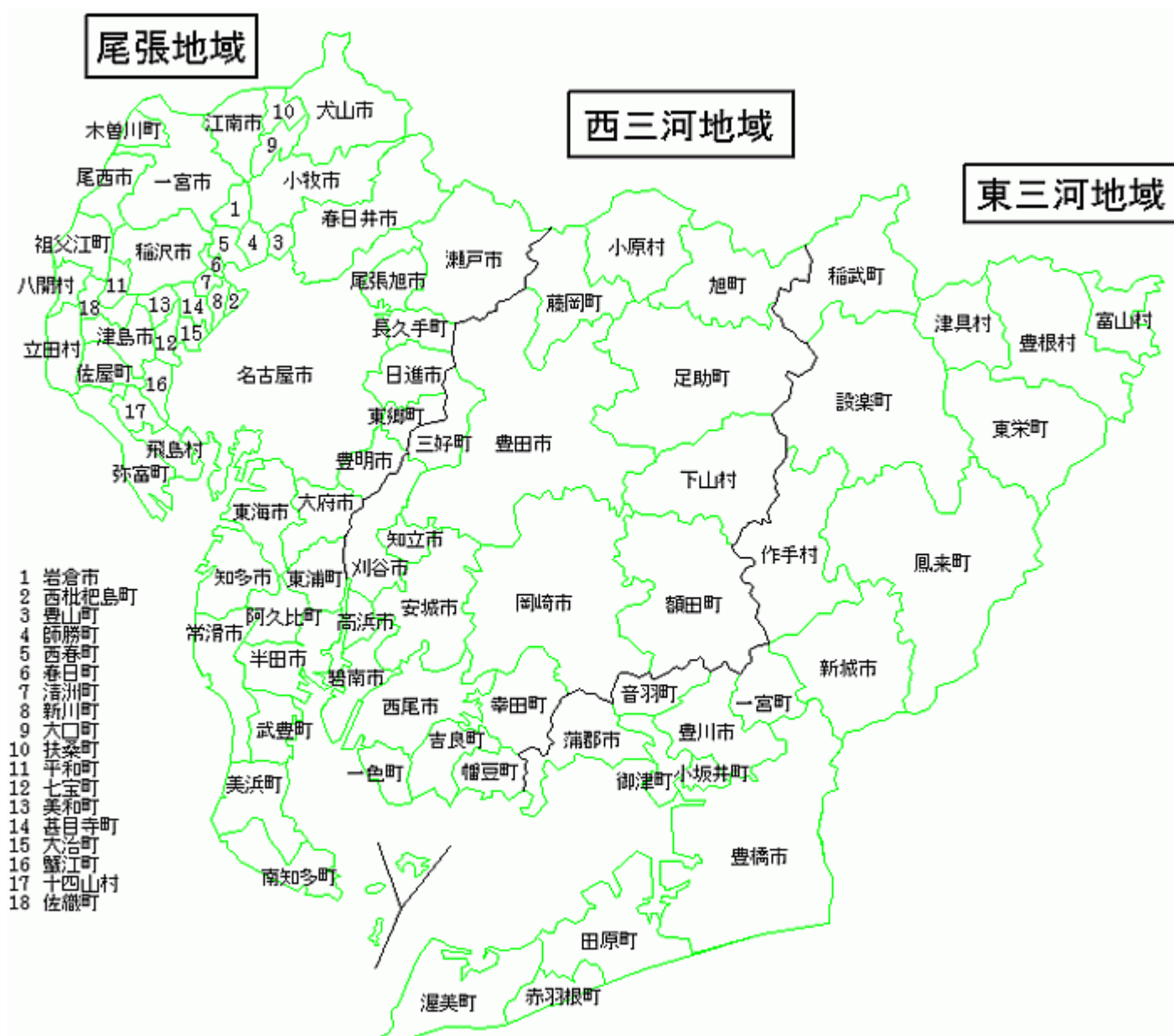
「-」…… 該当がない場合

4 数表中、総数(計)には不詳も含まれます。

また、総数(計)が内訳を合算した数と合わないものは、内訳において単位未満を四捨五入したことによるものです。

5 図中の昭和20年の人口は、同年11月1日現在で行われた人口調査によるものです。

6 この資料における「尾張地域」、「西三河地域」及び「東三河地域」の3地域の区分は、下図のとおりです。



尾張地域			西三河地域		東三河地域	
名古屋市	東郷町	十四山村	岡崎市	一色町	豊橋市	設楽町
一宮市	長久手町	飛島村	碧南市	吉良町	豊川市	東栄町
瀬戸市	西枇杷島町	弥富町	刈谷市	幡豆町	蒲郡市	豊根村
半田市	豊山町	佐屋町	豊田市	幸田町	新城市	富山村
春日井市	師勝町	立田村	安城市	額田町		津具村
津島市	西春町	八開村	西尾市	三好町		稲武町
犬山市	春日町	佐織町	知立市	藤岡町		鳳来町
常滑市	清洲町	阿久比町	高浜市	小原村		作手村
江南市	新川町	東浦町		足助町		音羽町
尾西市	大口町	南知多町		下山村		一宮町
小牧市	扶桑町	美浜町		旭町		小坂井町
稲沢市	木曾川町	武豊町	市	町村		御津町
東海市	祖父江町		8	11		田原町
大府市	平和町					赤羽根町
知多市	七宝町					渥美町
尾張旭市	美和町				市	町村
岩倉市	甚目寺町				4	15
豊明市	大治町					
日進市	蟹江町					
市		町村				
19		31				